

商 況

販賣旬報 第74號 昭和3年11月1日

耳附鋼板の需要傾向 昭和3年1月積より12月積迄の1ヶ年内に於ける本所の耳附鋼板の供給高は次表通りであつて中厚板の需要傾向を察知すべく恰好の材料とするに足るであらう。

幅	厚サ4.5 耗	6 耗	9 耗	11 耗	12 耗	13 耗	16 耗	19 耗	計
4 × 16	2,050	460	—	—	50	—	—	—	2,560
5 × 20	3,040	4,170	1,700	20	1,610	—	130	340	11,010
5 × 25	—	—	1,580	220	1,540	—	580	620	4,540
5 × 30	—	—	2,260	85	2,375	100	330	200	5,350
6 × 20	—	4,290	120	40	1,000	—	50	110	4,710
6 × 25	—	—	5,130	100	1,770	550	1,040	810	9,400
6 × 30	—	—	6,360	300	3,980	500	1,160	1,350	13,620
7 × 20	—	—	110	—	60	—	80	120	370
7 × 25	—	—	—	—	—	—	30	30	60
7 × 30	—	—	—	250	550	200	550	500	2,050
8 × 25	—	—	—	50	100	50	100	150	450
計	5,090	8,920	17,230	1,065	12,135	1,400	4,050	4,230	54,120

之を厚き別に見ると9耗及12耗の2寸法で6割を占め、11耗、13耗の如き無に近い。

之を幅別に見ると6尺物が第一位で5尺物が之に次ぎ7尺物は甚だしく下られ8尺物は無に近い。

5 尺 物	20,950
6 尺 物	27,930
7 尺 物	2,480
8 尺 物	450

最後に長さ別に見れば次の通りとなり順次長物に移り行く傾向が看取される。

20 呎 物	16,090
25 呎 物	14,450
30 呎 物	21,020

1 月積先物賣行概況—申込激減

一、條 鋼

(1) 賣出吨數

線 材	一、二小形	三小形	一中形	二中形	一大形	二、三大形	軌 條	計
100	600	400	500	500	600	1,500	0	4,200

(2) 揚地別申込吨數

	丸	角	平	等 邊	不等邊	溝	工	計
東 京	9,280	255	3,457	950	321	330	260	14,844
大 阪	5,650	155	2,270	880	876	705	648	11,184
名 古 屋	2,750	175	1,372	85	—	30	10	4,422
其 他	782	40	680	40	—	—	—	1,542
計	18,462	625	7,779	1,955	1,188	1,065	918	31,992

(3) 引受吨数 (括弧内は定期)

	丸	角	平	等 邊	不等邊	溝	工	計
線 材	100 (296)	—	—	—	—	—	—	100 (296)
一、二小形	—	65 (50)	403 (1,549)	133 (150)	—	—	—	601 (1,749)
三小形	385 (2,304)	—	—	15 (40)	—	—	—	400 (2,344)
一中形	—	25	371 (595)	—	75	29	—	500 (595)
二中形	220 (255)	21	—	78 (600)	181 (140)	—	—	500 (995)
一大形	—	—	—	—	182 (370)	334 (465)	15 (60)	531 (895)
二、三大形	—	—	—	611 (370)	205 (280)	80 (300)	205 (665)	1,101 (1,615)
軌 條	—	—	—	—	—	—	—	—
計	705 (2,855)	111 (50)	774 (2,144)	837 (1,160)	643 (790)	443 (835)	220 (829)	3,733 (8,663)

二、鋼 板

(1) 賣出、吨数

厚 板	一中板	二中板	計
1,000	500	1,200	2,700

(2) 揚地別申込吨数

	厚 板	一中板	二中板	計
東 京	440	4,205	890	5,535
大 阪	530	3,495	1,353	5,378
名 古 屋	423	1,172	99	1,694
其 他	68	1,143	140	1,351
計	1,461	10,015	2,482	13,958

(3) 引受吨数 (括弧内は定期)

厚 板	一中板	二中板	計
1,249	500 (498)	1,700 (715)	3,449 (内指定外引受 132) (1,213)

三、鋳 力 板

(1) 賣出、申込吨数

	賣 出	申 込
市 場 向	800	1,080
實 需 向	400	400
計	1,200	1,480

(2) 引受吨数

	170 封度	100 封度	オイルサイズ	計
市 場 向	394	262	144	800
實 需 向	100	100	200	400
計	494	362	344	1,200

四、線 材 (括弧内は定期)

*

(1) 賣出、申込、引受噸數

	賣出	申込	引受
線材	1,000 (500)	1,810 (500)	1,000 (500)
製釘材	3,000	3,000	3,000
計	4,000 (500)	4,810 (500)	4,000 (500)

1 月渡賣出噸數は條鋼は豫報した通り 2ヶ月分割とした爲前月に比し 2,700 噸の減少となり、鋼板は西八幡工場の開設を豫期して二中板にて 700 噸の増加となつた。鍼力、線材は不變。

申込數量は前月に比し條鋼にて約 7,000 噸、鋼板にて約 6,000 噸、線材にて約 2,800 噸の各減少を示し鍼力のみ 120 噸の増加である。

條鋼。市場の不味と賣出數量の減少の氣構えもありてか申込の激減を見た、品種別に就て見ると各品種共減少であるのに獨り平鋼のみは増加を見せて居る、此れは現在の地場の景況を其儘物語るものではあるまいか。

鋼板。二中板の申込は今迄 10,000 噸内外を往來して居たものが先月に於て西八幡工場の開設の豫期によつて 2,050 噸を引受をなしたる處今月の申込に於ては一舉 2,482 噸と云ふ前月に比し約 1/4 の驚異的數字を現はした、此を見て如何に假需要の多いかが窺はれると思ふ。

線材。輸入超過による先安見越もあつてか先月とは逆轉して此減少となつた。

10 月下旬神戸、横濱兩港細丸、線材の輸入

細丸								線材				
港/寸法	1/4"	3/8"	1/2"	3/4"	計	10月合計	港/寸法	B.W.G. No. 5	其他	計	10月合計	
神戸	75	23	205	140	72	515	823	神戸	2,965	408	3,373	13,324
横濱	48	30	484	66	101	729	1,592	横濱	1,182	110	1,292	2,914
計	123	53	689	206	173	1,244	2,415	計	4,147	518	4,665	16,238
10月合計	127	56	1,282	358	592	2,415						

細丸。3/8 は 10 月合計に於て大阪を豫想しても 1,500 噸内外ではあるまいか、其内横濱は 1,077 噸の入荷を見たのである、此模様から見ると細丸輸入の山は今少し先はあるのではあるまいか。

線材。兩港の輸入數量は市況に書いた通り極めて明瞭に相場に反映して居る。

10 月現物週間一不振

10 月に於ける現物賣出は恒例の 26 日當所販賣部に於て開かる成績次の通り

	丸	角	平	山	工	溝	計
賣出	81	76	236	333	88	48	863
賣約	15	—	10	45	74	—	144

8 月、9 月に於てあれほど盛況だつた現物週間も今月は市況の不味を正直に移して買手は 4、5 人を數へたのみ、賣行としても甚だ不振たるを免れなかつた、只工形は大型物であつたので殆んど浚はれたのが目立つ位であつた。

東西市況—細丸續落—其他弱含保合 中旬頃より金解禁の聲の喧ましいにつれ爲替硬化の模様あり、23 日に到り突如爆發して、11/16 を現出するや、敏感なる大阪に先づ波瀾を起し、細丸の續落となり、3/8 の 5、60 錢の下押しを見せ東京も之れに引きづられ 6、70 錢の下放れを演じ、之れか原因となつて市場全般の鈍狀を馴致した、随つて需要家筋も先安を氣構へて形勢觀望の態度を探り只管買見送りの爲め今も季節及來勘の時期としては荷動き閑散裡に推移して居ると見られて居る、然し目先としては海外も比較的軟化せず、在荷も依然として手薄に加へて爲替も大勢は強調としても騰勢は一服の姿となつたので、賣りに廻れば叩かれるが買に出れば賣腰案外に強く未だ市況にも相當彈力がある模様である。

東京市況

丸鋼。大阪の煽りを受けて急落を見た細丸も下旬に於ける横濱の輸入が 500 噸足らずの少量であつた爲か、先行の不安は勿論あるが其後稍氣直りの状態となりザリ下げと云ふ穩健な歩調を迎へる様になつた模様である。

ベース物も下濫りの商状で太丸は寧ろ一段と硬化して居ると云はれて居る。

角、平鋼。角は釘付けで動かず、平は此軟勢の間にあつて異彩を放ち好調のまゝ推移して居る。

型鋼。等山の腐れは不變。目先も軟弱と見られ至つて不人気である。不本山は品薄の爲其儘小耽りとして居る、溝、工の概観は保合であるが溝の $\frac{3}{8} \times 3\frac{1}{2} \times 12$ が大阪大口需要の爲買はれて今は品切れの状態と云はれ、之に反し工形の $0.28 \times 4 \times 8$ が當所第二大形工場で製作することになつた爲引受數量が多くなつて目立つて下押しを見せた。

鋼板。1'6 は小耽りとして居るが 3'2 以上は弱保合を續けて居る。

黒薄鋼板。今年ほど恵まれぬ事は稀であらう。散々雨に祟られた上南支の排日に禍され、其内に不需求期は來ると云ふ有様で製品の荷動きは益々鈍く爲に 91 錢を割る噂さえある程故原板も一向不冴またも 1 錢擲分の引き弛みとなつた模様で目先も望を繋ぐべき何等の材料も見出せない様である。

線材。輸入に左右される線材は面白い程輸入數量の多寡を如實に相場の上に現はして居る、即ち 10 月輸入の横濱の 3,000 噸は東京の耽りを、神戸の 14,000 噸は大阪の値崩れを映して居る。

大 阪 市 況

丸鋼。細丸は豫期した輸入よりも先にまさか今頃とは思はなかつた爲替の硬化によつて第一回の小混亂を演じ、急落と賣行不振の爲市場は惰氣満々とし利喰急ぎに軟化を助長して居る。

角、平、鋼。角は變りなきも、平は東京の硬化を移し、 $\frac{1}{4}$, $\frac{3}{8}$ 厚の 2 $\frac{1}{2}$ 以下の物は品薄も手傳つて續騰を告げて居る。型鋼等邊は在荷漸増に連れ利喰物現はれ反落を呈せるも安値には買氣潜在せる處より案ずれば或程度の低落を見たる後は恢復も早かるべしと見て居る筋もある。溝、工は大なる變化はなきも大型は尙高値を持續して居る。

鋼板。2'3 以下は追々と輸入品に壓迫せられ下押し氣味で厚板も一路軟勢を辿つて居る模様である。

線材。9 月の神戸輸入約 14,000 噸は、消費力より見て約 4,000 噸の過剩で之れが爲崩落となり 30 日には 95 6 圓と云はれて居る。

正 誤

前旬報(第73號)中下の通り訂正す

(イ) 東京大阪市中相場の中、鋼板 $1'6^m/m \times 3' \times 6'$ の 10'27 は 12'93 に訂正。

(ロ) 三港輸入鋼材寸法別總計表の中合計 61,801 は 61,831 に訂正。